



青少年教育センター「はばたき だより」第4号のお知らせ

日差しがやわらかくなり、秋の深まりを感じる季節となりました。朝夕の空気には少しずつ涼しさが増し、ようやく過ごしやすい日々が戻ってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

この時期は、夏の疲れが出やすく、また新学期の慌たしさが少し落ち着く頃でもあります。一方で、夏休み明けから秋にかけては、お子様にとって学校生活や友人関係、学習などの面で新たな悩みや不安を抱えやすい時期でもあります。

そんなときは、無理に頑張らせようとするのではなく、気持ちを受け止めながら少しずつ整えていくことが大切です。

青少年教育センターでは、お子様や保護者の皆様が安心して相談できる場所として、日々の悩みや心配ごとにより寄り添っています。秋の穏やかな季節を、少しでも心安らかに過ごせるよう、これからもサポートを続けてまいります。どうぞお気軽にご相談ください。

多様な学びの場と進路選択について

進路を考える時期になると、「自分に合った学びの場はどこだろう」と悩まれるお子様や保護者の方も多いのではないのでしょうか。近年、社会の変化に伴い、従来の学校以外にも多様な学びの場が広がっています。今回は、フリースクールと通信制高校についてご紹介します。

1 フリースクール

フリースクールは、学校に通うことができない子どもたちのために設けられた民間の教育支援施設で、一人一人のペースや関心に合わせた柔軟な学びの場です。少人数の中で、安心して自分らしく過ごすことができるよう、各施設ごと工夫しており、体験や対話を通して自信や社会性を育むことを大切にしています。学校に通うことに不安を感じているお子様でも、自分に合った施設を選ぶことで、安心して学びに向き合えるケースもあり、選ばれることが増えています。

2 通信制高校

通信制高校は、自分のペースで学習を進めることができる高校です。授業は主に自宅での学習を中心に進め、インターネットや教材を活用して課題を提出し、単位を修得します。また、将来の目標や興味に応じてコースを選べる学校も多く、生活リズムや体調に合わせながら学習を続けやすい点が特徴です。自分の時間を大切にしながら、無理なく高校生活を送ることができます。



フリースクールや通信制高校といった多様な学びの場は、お子様が「自分に合った方法で学びを続ける」ための大切な選択肢です。それぞれの子どもに合った学び方を見つけることで、自信を取り戻し、次の一歩へとつながります。

進路等でお悩みの際は、青少年教育センターまでお気軽にご相談ください。皆様の思いに寄り添いながら、共に考えてまいります。

◎お子様のことで気がかりなことがありましたら、電話で面接相談をお申し込みください。

☎055-951-3440 *月～金 9:00～17:00

青少年教育センター（沼津市八幡町97）の4階に面接室があります。保健センターと同じ建物です。



*電話相談「やまびこ電話」（匿名相談を受付）もぜひご利用ください。

☎055-951-7330 *月～金 10:00～19:00

「心理的安全性」

「心理的安全性」とは、「自分の考えや意見などを組織のメンバーの誰とでも率直に言い合える状態」のことを言います。この言葉は、ハーバード・ビジネススクール教授のエイミー・C・エドモンドソンさんが1999年に論文発表したものです。心理的安全性の高い組織やチームほど、パフォーマンスが向上することが分かり、一躍注目をされました。

学校においても「心理的安全性」は重視されています。学校における心理的安全とは、生徒が安心して自分の考えや感情を表現できるような、集団の心理的な状態のことです。心理的安全性が高いクラスでは、生徒は積極的に授業に参加し、主体的に学ぶことが期待できます。

しかし、生徒の意見を尊重するあまり、指導がおろそかになると授業が乱れたり、いじめや不登校につながったりする可能性があります。また、個人の自由な発言を無条件に許容していると、生徒の不用意な発言が他の生徒を傷つけることがあります。そうならないために、発言には責任が伴い、他の人の意見も尊重することが求められます。

学校の教室の心理的安全性を高めるには、その前提として、職員室の雰囲気も大事であると考えられます。つまり、教職員同士も率直な意見交換をして連携し、生徒への一貫した指導や課題の改善につなげていく必要があると言われています。そのためには、やはり日頃のコミュニケーションが大事だと思いますが、教職員研修の中で、「いいところ探し」や「共通点探し」を試みるのも良いでしょう。

また、ご家庭や地域でも、日頃から心理的安全性が高まるような関わりについて意識しながらコミュニケーションをとっていけると、子どもたちの健やかな成長につながっていきます。



まずは、学校、家庭、地域の中で子どもたち一人一人が自分から勇気を出して笑顔で挨拶できるような環境を共に目指していきたいですね。